

契約変更理由書

神戸市

工 事 名	須磨多聞線(西須磨)橋梁下部工新設工事(その3)
<p>契約変更後の工事概要</p> <p>工事延長 L=271m, 橋脚 2 基, 橋台 1 基, 道路土工 1 式, 舗装工 1 式, 排水構造物 1 式, 付帯工 1 式, 仮設工 1 式, 橋梁下部 道路土工 1 式, 場所打杭 1 式, 躯体工 1 式, 仮設工 1 式</p> <p>契約変更後の工期</p> <p>契約年月日 令和 5 年 10 月 30 日 完成期限 当初：令和 8 年 3 月 31 日 変更：令和 8 年 3 月 31 日、予算繰越の上は令和 8 年 9 月 30 日 当初からの延長：183 日間</p>	
<p>■設計変更の理由</p> <ul style="list-style-type: none">山陽電車跨線部の上部工架設工事を委託する山陽電車との協議の結果、現在本工事にて使用している資材置き場の利用範囲調整のため置場内の物件移設・処分等が必要となり、資材置き場内整理工が増工となった。下部工本体工施工のために中央幹線中央部の植栽帯を撤去して施工ヤードの一部としている。植栽帯を撤去した後の土砂が想定以上に細かく重機などの往来により砂が巻き上がる可能性が高いため、粉塵対策として仮舗装を施工する必要があった。また、現場打杭施工に必要な仮設給水設備の設置が必要となった。これらにより施工ヤード整備工が増工となった。下部工本体施工ヤードは中央分離帯部の非常に狭隘なヤードであり、現場精査の結果、現場打杭施工において当初想定した機械では施工機械の配置・旋回が不可であるため、狭小地での施工に対応可能なマイクロ全旋回工法に変更する必要がある、場所打杭工が増工となった。狭隘なヤードのため、鋼矢板打設・撤去時に機械の据付・撤去回数が増となった。また、鋼矢板が雨水幹線や供用中の中央幹線に近接しており、雨水幹線の管理者と協議を行い、鋼矢板引抜時の共上りを抑制するため、鋼矢板引抜時に空隙を充填する工法を採用するよう指示があった。これらにより、土留め工が増工となった。設計変更等に伴い交通誘導員を配置する日数が増加するため、交通管理工が増工となった。現地精査の結果、その他工種数量に増減が生じる。	

■工期延長の理由

- ・ 信号移設に関して、信号に入線している電線等の移設について関西電力送配電との移設工事契約締結や、施工時期の調整等が必要となったため、31 日間の工期延長が必要となった。
- ・ 切り回し道路工において、当該路線である中央幹線は車両乗入れ箇所が非常に多く、乗入れ部の通行を確保しながら施工する必要があった。加えて、中央幹線本線部の舗装施工において、本線部の通行も確保する必要があり、乗入れ部や本線部の排水構造物工、舗装工の施工期間が増加し、41 日間の工期延長が必要となった。
- ・ 土留め工において上記⑤に示す理由から 51 日間の工期延長が必要となった。
- ・ 下部工本体施工ヤードが狭隘であるため、現場打杭工、躯体工の施工において資材の運搬、重機の移設、土砂運搬等の作業効率が悪化し全体工程が長くなるため、60 日間の工期延長が必要となった。
- ・ 上記理由より、計 183 日間の工期延長が必要となる。

以上